

美国总统就任演说6 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/245/2021_2022__E7_BE_8E_E5_9B_BD_E6_80_BB_E7_c105_245736.htm 6. ロナルド

ド#12539.レガン第一期大就任演(1981年1月20日)ハットフィールド上院、最高裁判所官、大、副大のブッシュ氏とモンデル氏、ベカ上院、オニル下院、ムマウ、そしてアメリカ国民のみなさん。ここに今日集まっているわれわれの何名かは、この大就任式はでもっとも重要なことではありますが、わが国の史にとってはごくあたりまえのことにすぎません。この法で必要とされている整然ととり行なわれる力の委は、手通りほとんど2世ちかくもとり行われてきました。そしてわれわれのでは、われわれがはどれほど奇妙であるか立ち止まって考えるものはほとんどいけません。世界の多くの人目からみれば、われわれが普通のこととして受け入れているこの4年ごとのセレモニは、奇そのものといってもいいでしょう。大、私はあなたがこのを受けぐためにどれほどのことをなしとげたかを国民に知ってもらいたいと思います。承におけるあなたの大な力のおかげで、守っている世界中に、われわれが他の政治体制よりずっと人の自由を保障する政治体制を保持して行くことを束する、束した国民であることを示すことができました。そしてわたしは、あなたや国民にわれわれの共和国の者でありつづけたことを感したい。われわれの国のは前している。今のアメリカには的な困に数多くの人が直面している。われわれは、アメリカの史上もっともく、もっともひどいうちの

一つのインフレに苦しんでいる。インフレはわれわれの上の定を歪め、蓄行を地に追いつめ、必死にく若者や入が固定されている年配を同じように破させ、われわれ何百万人も的人生を痛めつけようとしているのである。仕事のないは者を失へと追いつめ、人をみじめにさせ自尊心を深くつけた。いているものにも、成功者をしわれわれが最大限に生をさせないようにしている税制のおかげで、にする金が支わられていない。しかしわれわれの税がどんなに重いものでも、公的な支出と肩をならべるまでのものではない。何十年も、われわれは赤字に赤字を重ね、われわれの将来を、われわれの子供の将来を在の一の都合で担保にしてきた。このいやってきたことをけるつもりなら、社会的に、文化的に、政治的に、的に大が起ることはだろう。あなたがたと私は、人として、借入れをすることで、ある特定の期だけなら以上の生活を送ることができる。それなのに、集となると、つまり国としては、われわれが同じ制をうけないと考えられるだろうか？今日われわれは、明日のことを考え行しなければならぬ。そして解がないようにしたい、われわれは行し始めている、今日始めているのだ。われわれが苦しんでいる的な苦境は、ここ数十年に渡るものである。数日や、数や、数ヶ月で解したりするものでない。しかし将来には解するものである。なぜならわれわれは、アメリカ人として、この最後にして最大の自由のよりどころを守るために必要なことはなんであれ行するのに、去にもっていたのと同じ能力を在も持ち合わせているから、それは解するのである。この在の危において、政府がわれ

われのの解策ではない。ときどきわれわれは、社会は自治にはあまりにになりすぎているとか、人民の、人民による、人民のための政府よりエリートによる政府の方がれていると考えがちである。われわれのうちのだれもが自己を管理できないとしたら、われわれのうちのが他の人を管理できるというのだろうか？ われわれはみな一に、政府の中であれ外であれ、重荷を背わなければならない。どれか一つのグループが高い代を支うためにび出されるようなことがあってはならない。われわれは特定の利害にわるグループのことをよく耳にする。われわれの心は、あまりにいされてきた特定の利害にわるグループに向けられなければならない。そのグループには地域的な境界や、民族的、人的な区分がないことはわかっているし、政党の政策ともすれちがっている。そのグループは、われわれの食料を生し、通りをパトロールし、山や工でき、われわれの子供たちを教え、家庭を守り、病のはわれわれをしてくれる、家、小商人、事、タクシヤトラックの手である男女から成り立っている。かれらは要するに「われわれ人民」であり、この集がアメリカ人と呼ばれるのである。さて、この政府の目的は、健全たる活にあふれたの成である。そのは全てのアメリカ人に平等に会を与え、偏や差からの障害がないである。アメリカを仕事にひきもどすということは、全てのアメリカ人を仕事にひきもどすということである。インフレをわらせるということは、全てのアメリカ人が急する生活の恐怖から自由になるということである。この「新しい始まり」の生的な仕事に全ての人が加わらなければならない。そして全ての

人がこの分け前に与らなければならない。われわれのシステムと力の源泉である理想主とフェアプレの精神でもって、われわれはく、繁し、アメリカ自身と世界を平和にするアメリカを作り上げることができる。そして始めるにあたって、棚おろしをしよう。われわれは一つの政府をも一つの国であり、政府以外の手段はない。このことが地球上の国々の中でもわれわれを特なものとしている。われわれの政府は、人民からめられた力以上を手にするのではない。今こそ、政府の治を受けるものの了承をこえて政府が大きくなるしるしをせている、その成をチェックして小さくするときである。邦政府の力のサイズと影を抑制し、邦政府にめられた力と州と人民のために保された力ののいをはっきりさせることを要求するのが、私の努力をするところだ。われわれはみな邦政府が州を作ったのではなく、州が邦政府を作ったことを思い出す必要がある。さて、もう解する余地はなくなったことだろう、政府をなくすのは私の努力するところではない。むしろ政府を、われわれの上に立ってではなく、われわれのみに立って、われわれの背に立ってではなく、われわれとともにくようにすることが私の努力するところである。政府は会を提供することができるし、またしななければならないが、それを握りつぶすようなことがあってはならない。政府は生性を促できるし、またしななければならないが、それを抑制するようなことがあってはならない。もしわれわれが、なぜわれわれはこれほど何年ものこれほどのことをなしとげてきて、この世界でもっとも繁しているのかという理由に目を向けてみれば、その

理由はここ、この土地にあり、われわれはかつてなかった程度まで、人のエネルギーと能力の束を解いたのだ。自由と人の尊は、ここでは世界中のどこよりもずっと容易に入手可能で、保されていた。この自由の代は、々は高くついたこともあったが、われわれはその代を支うのに躊躇したことはなかった。われわれの在のトラブルと、政府の不必要で大な成に起因するわれわれの人生への干と介入が、づけられたり比例しているのは偶然ではない。われわれは、大きすぎる政府がわれわれのを小さくする制となっているのにづくときなのである。われわれは、いくにんかがそう信じているように、ただ漠然と必然的に下降の道をんで行くようなことはない。私はわれわれが何をしようとも降りかかってくるような破は信じないが、われわれが何もしないなら、降りかかってくる破は信じる。だからわれわれの使命に全ての造的なエネルギーを注いで、国を再生させる代の幕をあけよう。われわれの意、勇、力を新たなものとしよう。われわれの信仰と希望を新たなものにしよう。われわれはみなヒロのようなをみる利をもっている。われわれがヒロなんていない代に生きているのだという人々は、目のつけどころを知らないだけなのだ。あなたがたは、日工のを出入りするヒロをることができる。他にも、数は少ないが、われわれみなそして全世界にありあまるほどの食料を生しているものもいる。あなたがたはカウンタの向こうでもヒロに出会うことができる。そしてヒロはカウンタのこちらにもいるのである。自分自身やアイデアを固く信じて、新しい仕事や富や会を作り出す起家がいる。ヒロたちは人

や家族であり、その税金が政府を支え、自的な寄付が会や
チャリティや文化、芸そして教育を支えている。国心は口
にはださないが心に深くきざみこまれており、そのがわれ
われの国の生活を支えている。 100Test 下载频道开通，各类
考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com